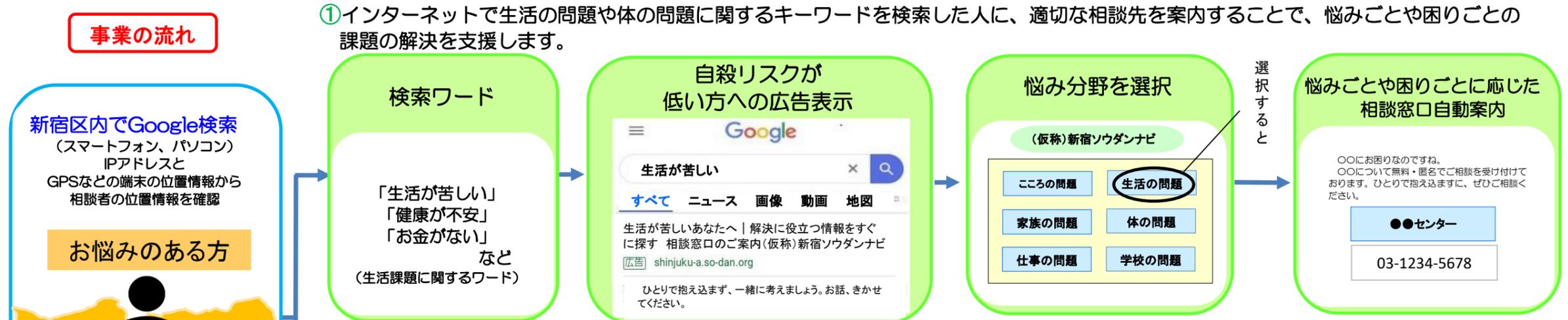


自殺総合対策の推進

7月1日から
スタート

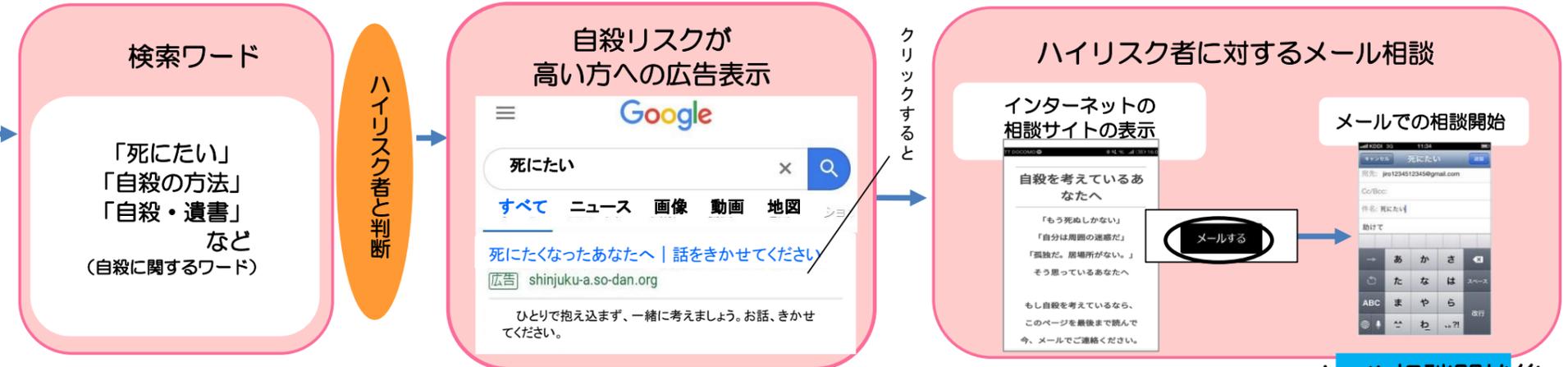
相談窓口自動案内 と ハイリスク者へのインターネットゲートキーパー事業

事業の流れ



※画面イメージは今後変わる可能性があります。

②自殺リスクの高い人に対しては、メールでの相談を促し、自殺を未然に防止します。



【区の自殺の実態】

- 国や都に比べ、自殺死亡率が高い。(2015年 全国：18.9、東京都18.8)
- 20歳代の自殺者数が一番多い。
- ころの問題について気軽に相談できる場所・窓口を知らない人が約6割を占める。

など
(出典：警察庁「自殺統計」等)

【目標：自殺死亡率*の減少】

※自殺死亡率：人口10万人当たりの自殺者数
本事業のほか、ユースゲートキーパーの育成（1年で500人以上）等の取組によって、自殺率を、2026年までに2015年と比べて30%以上減少させます。

2015年 **25.3**

↓

2026年 **17.7以下**

ハイリスク者に対してメール相談後、必要に応じて適切なアドバイスをいたします。また、相談内容に応じて適切な関係機関につなぎます。

